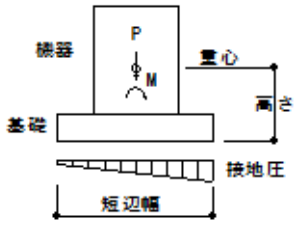
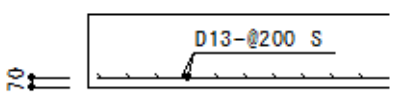
機械基礎の検討

機器名称	計算式	キュービクル基礎			
機器自重	kN	35			
地震震度	K=1.0	1			
基礎幅(短辺)	m	2.2			
基礎長さ	m	4			
基礎礎版高さ	m	0.3			
重心～底盤底高さ	m	1.2			
基礎自重	kN	63.36			
底盤底短期M	kN･m	42			
機器＋基礎自重	kN	98.36			
e	e=M/N m	0.427			
e/L	m	0.194			
長辺方向偏心	m				
e/L	m				
長辺長期倍率α'		1.000			
短期倍率α	0.166>e/L: 1+6*(e/L)	2.179			
	0.166<e/L:2/(3(0.5-e/L))				
長期地反力	kN/m2	11.2			
短期地反力	kN/m2	24.4			
長期設計地耐力	kN/m2	50			
短期設計地耐力	kN/m2	100			
長期検定比	OK ＜1	0.22			
短期検定比	OK ＜1	0.24			

■ 礎版はほぼ曲げを生じないが用心鉄筋として、下端に D13-@200 縦横シングルを配置すれば足りる。





基礎配筋